

独立自尊

熱狂的な個が生きる

理事長挨拶

平素より（一社）近江八幡青年会議所の運動や活動に對しまして、格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私は（一社）近江八幡青年会議所第五十四代理事長を拝命いたしました岡田大輔と申します。よろしく願い申し上げます。

（一社）近江八幡青年会議所は一九六七年六月に日本国内にて三四六番目の青年会議所として日本青年会議所に承認された組織となり、私たちは「奉仕」「修練」「友情」の三信条のもと、「明るい豊かな社会」の実現を基本理念として、「まちづくり」「ひとづくり」をはじめとする様々な地域課題の解決に向けた運動・活動を展開して参りました。

また近年では、（公社）日本青年会議所が「持続可能な開発目標（SDGs）推進におけるタイアップ宣言」の署名から、「日本一SDGsを推進する団体」として（一社）近江八幡青年会議所も取り組みを行っています。

青年会議所は二〇歳から四〇歳までの限られた年齢制限の規定がある中で、青年期に地域課題を始めとした諸問題に對して独自の視点で捉え、目的に基づいた様々な経験から多くの成長がある組織となります。

地域の経済人として私たちは、地域の皆様から必要とされ続ける組織を目指してこれからも運動・活動を続けて参ります。

理事長方針

本年度、（一社）近江八幡青年会議所は「独立自尊」というスローガンを掲げました。

今の私たち青年が生きる現代社会は、先人たちが地域の未来を考え、絶え間ない努力から、素晴らし



い豊かさや平和な環境となりました。しかし、その一方で、与えられた豊かさゆえに、今の青年は自己肯定感の低さや主体性の欠如が問題視されています。また、社会問題の一つでもある人口減少社会を見据え、この豊かな生活は今後、決して誰かが保障してくれるものではありません。

（一社）近江八幡青年会議所の使命は「明るい豊かな社会」の実現です。本年度の（一社）近江八幡青年会議所メンバーは地域の経済人として、一人ひとりの独立した強い精神のもと、青年としての熱い情熱と覚悟をもって邁進することをお約束すると共に、より良い地域の発展に寄与していく所存でございます。

市民への抱負

（一社）近江八幡青年会議所の使命は「明るい豊かな社会」の実現です。

（一社）近江八幡青年会議所のメンバーは地域の経済人として、一人ひとりが独立した強い精神のもと、青年としての熱い情熱と覚悟をもって熱狂的に邁進することをお約束すると共に、今後とも地域の発展に寄与していく所存でございます。

地域の皆様には、今後とも、（一社）近江八幡青年会議所に対しまして、益々のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年度の委員長より一言

地域創造委員会 委員長 亀井頌司君

私たちの委員会はその字を見ると地域を創造する委員会という事になりますが、まず私たちは近江八幡、竜王地域において、このまち、このまちに暮らす人々や、このまちに関わる全ての人々に文化、食、人、など地域の魅力をより知って頂き、より豊かで明るい未来を築く為に運動してまいります。そんな中で今予定している事業として、7月にまちの魅力が一堂に会する「はちまふフェスタ」を開催させるべく、委員会メンバー含め多くの方々と協働し邁進する所存であります。

人財開発委員会 委員長 竹井裕君

2019年1月に（一社）近江八幡青年会議所に入会し、育成委員会のメンバーとして右も左もわからない状態でしたが、楽しみながら1年間JC活動をしてきました。人財開発委員会委員長として、メンバーの見本となり、自身の成長や委員会メンバーの成育を楽しみながら感じられるように、JC活動に取り組んでいきたいと思っています。

拡大委員会 委員長 古株祐治君

本年度、正会員数37名の33%の増員を目標に掲げております。志を共にできる仲間を増やすことにより、対内の運動・活動範囲も飛躍的に成長できると考えており、また地域に對しても飛躍した（一社）近江八幡青年会議所が街づくりに携わりより良い近江八幡市になることを考えております。結びになります今年度、拡大委員長として精一杯頑張る所存で御座います。一年間どうぞよろしく願いいたします。

企画広報委員会 委員長 福永恵太君

（一社）近江八幡青年会議所は明るい豊かな社会を築くことを目指し、さまざまな運動をしています。私たちの熱い想いを地域社会へ広く発信し、地域からの理解と共感をいただけるように当委員会では、対外広報誌「ひろば（本誌）」ならびにホームページそしてFACEBOOKを活用し、我々の魅力をしっかりとみなさまへ発信していきたいと思えます。

クローズアップJAYCEE

1月新年例会・懇親会

1月13日(月)に(一社)近江八幡青年会議所の1月新年例会を開催致しました。2020年度初の例会ということもあり、いつも以上の緊張感がありとても良い感じでした。理事長の新年挨拶、そして新入会員5名の入会承認式を執り行いました。緊張感のある新入会員の挨拶でした。例会タイムでは、近江八幡市長 小西理様をお招きして、ご講演をしていただきました。近江八幡市の課題とこれからの改善点、青年会議所に求めることなどをお話いただきました。その後、質疑応答では、するどい質問の数々ですごく有意義な時間を過ごせました。小西理市長、ありがとうございました。



例会の後は、多くの来賓の方や特別会員の方々にご列席いただき懇親会を行いました。最初に近江兄弟社高等学校吹奏楽部の皆さんに美しい音色を奏でていただきました。演奏いただいた中の1曲「未来につなぐメッセージ」は、日本青年会議所が東日本大震災をはじめとする様々な自然災害を受けて、復興のシンボルとして作られた曲でした。近江兄弟社高等学校 吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました。そして鏡開き、乾杯と続き、それぞれに名刺交換などご歓談を楽しみながら、新体制をお披露目させていただきました。

た。新体制お披露目では、各委員長の挨拶があり、それぞれに緊張している様子が伝わり、身の引き締まる思いになりました。最後はいつもの円になり「若い我ら」斉唱！また御来賓・特別会員の皆様ご多忙の中ご出席頂きまして誠にありがとうございました。



3月例会告知

近年、人との交流でSNSなどによるものが増えていく一方で、地域の連関が希薄化しており、地域発展に向けた協働意識を高めることを目的に(一社)近江八幡青年会議所では、3月例会で正会員だけではなく、地域の他団体の方々と交えた例会を開催いたします。



ピックアップ地域資源

■恋人の聖地

近江八幡に恋人の聖地があることをご存じでしょうか？まず、恋人の聖地とは「全国のプロポーズにふさわしいロマンチックな場所」が恋人の聖地として認定されています。近江八幡では八幡山ロープウェイが認定され、八幡山の山頂にはロマンチックなオブジェやモニュメントがあります。山頂の展望館前に近江八幡市内をバックに大きなLOVEオブジェや恋人の聖地のモニュメントがあり、多くのカップルが記念撮影しデートを楽しんでいます。夜になると「八幡ドルの夜景」が見えるそうです。1585年(天正13年)、豊臣秀次によって八幡山城は築城され、八幡山城跡は「続100名城」に選定されました。豊臣秀次の菩提のために京都村雲に創建され、昭和36年に八幡山に移築されたため村雲御所と呼ばれています。村雲御所瑞龍寺門跡本堂に、縁結びのパワースポット「誓いのよつ葉」があります。ハートのよつ葉で誓い合い、願いを奉納するデートプランが人気です。3月29日まで、村雲御所瑞龍寺ではひな人形の展示と和傘のイルミネーションも開催されますので、カップル、お友達 ご家族で拝観されてみてはいかがでしょうか。



メンバー募集中

40歳までで地域に貢献したい人集まれ!

●詳しい情報はWEBをチェック
<http://8man-jc.net/>

おうみはちまんJC 検索

ホームページにご意見箱を設置しました!

(一社)近江八幡青年会議所は、地域発展のために日夜活動しております。より良い運動・活動のために皆様のご意見を頂戴できれば幸いです。ご意見箱は、匿名での投稿も可能です。ご自由にご記載ください。

企画広報委員会より



西の湖は、安土山の西にあることから「西の湖」と呼ばれているそうです。面積は2.8km²、水深は1.5mの浅い湖。この一帯は干拓地で、昭和17年までは安土山から北はびわ湖につながっていました。その周辺のヨシ群落は近畿地方では最大級であり、周囲に水郷が張り巡らされ、「安土八幡の水郷」として琵琶湖八景の一つとして有名です。ヨシ原を主体とする湿地には動植物が多く確認され、2008年10月30日にはびわ湖のラムサール条約湿地登録エリア(1993年6月10日)として西の湖が登録されました。ヨシ群落は魚や渡り鳥ヨシキリの繁殖場所でもあり、晩秋から冬にかけては水鳥がやってきます。カイツブリ、キンクロハジロ、ヨシガモなど多くの水鳥を観察することが出来るそうなので、ぜひ皆さまもご覧ください。